

製品名: ARFGAP1 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM81838**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,ELISA,FC
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG2b
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	44.7kDa

抗原情報

遺伝子名	ARFGAP1
別名	ARF1GAP; HRIHFB2281
遺伝子 ID	55738.0
SwissProt ID	Q8N6T3
免疫原	大腸菌で発現したヒト ARFGAP1 (AA: 270-414) の精製された組み換え断片。

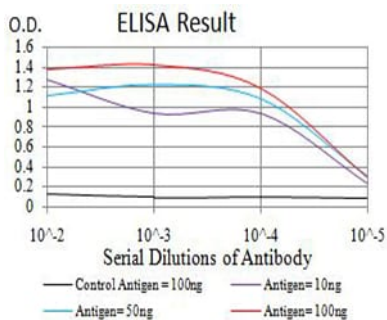
背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質は GTPase 活性化タンパク質であり、ゴルジ体と会合し、ADP リボシル化因子 1 と相互作用する。コードされるタンパク質は、ADP リボシル化因子 1 に結合した GTP の加水分解を促進し、ゴルジ体由来の膜および小胞が

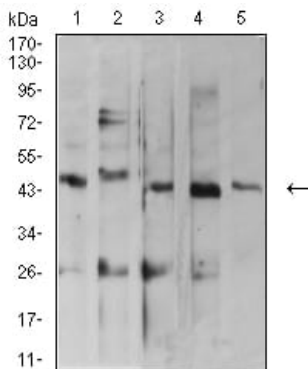
らのコートタンパク質の解離に必要である。コートタンパク質の解離は、これらの小胞が標的コンパートメントと融合するために必要である。このタンパク質の活性はホスホイノシドによって刺激され、ホスファチジルコリンによって阻害される。選択的スプライシングによって、複数の転写産物バリエーションが生じる。

研究分野

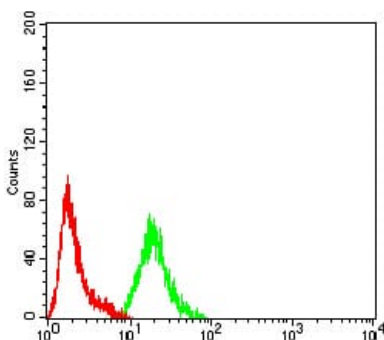
画像データ



黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



MOLT4 (1)、C2C12 (2)、HepG2 (3)、MCF-7 (4)、および Lncap (5) 細胞溶解物に対する ARFGAP1 マウス mAb を用いたウエスタンブロット解析。



ARFGAP1 マウス mAb (緑) とネガティブコントロール (赤) を使用した HepG2 細胞のフローサイトメトリー分析。